



2025年12月11日

各 位

会 社 名 売れるネット広告社グループ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 加藤公一レオ  
(コード番号: 9235 東証グロース)  
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 植木原宗平  
(TEL 092-834-5520)

売れるネット広告社グループ、

“150万円から始めるTV通販”『インフォマテストマーケティングプラン』をリリース

～TVインフォマーシャル制作+10本放映を150万円で実現し参入ハードル大幅低減～



売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：加藤公一レオ、東証グロース市場：証券コード 9235、以下 売れるネット広告社グループ）の連結子会社である売れるネット広告社株式会社は、このたび“テレビ通販の常識を完全破壊する”新サービス『インフォマテストマーケティングプラン』を正式リリースいたしました。

【TVインフォマーシャルが“150万円”で作れる、前代未聞のパッケージ誕生】

従来、TVインフォマーシャルを実施するには、制作費 300万円～、媒体費 100万円～と、初期コストが大きな参入障壁となっていました。その“重すぎる扉”を、我々はついにこじ開けました。

『インフォマテストマーケティングプラン』は、

・120秒のインフォマーシャル動画制作

・MXTVやCS、CATVを含むテレビ枠10本のOA

これらすべてを“破格の150万円”で提供する、業界の歴史を搖るがすパッケージです。

さらに上位プラン『インフォマテストマーケティングプラン』では、29分尺番組×約30本放送で250万円という、通常では考えられないコストパフォーマンスを実現。テレビから新規獲得を狙うD2C企業にとって、最強のテストマーケティング手段となります。

#### 【TV×D2C獲得の“必勝設計”を完全内製化】

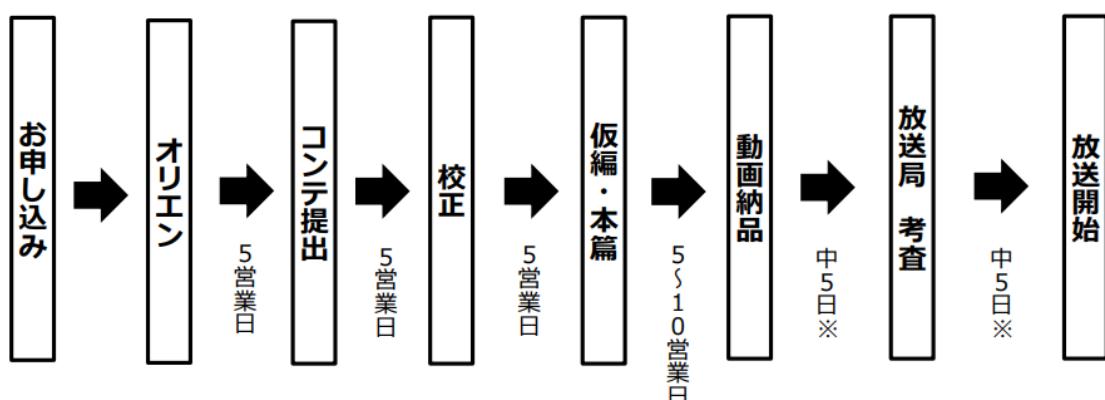
本サービスは、売れるネット広告社グループの中核資産である「最強の売れるノウハウ®」と、パートナー企業が20年以上積み重ねてきたTV通販制作実績との“化学反応”によって開発されました。

制作は

- ・商品情報
- ・訴求点
- ・愛用者の声
- ・オファー

を120秒に濃縮し、レスポンス特化のプロが制作・監修。これにより、最小コストで最大成果を狙う“攻撃的インフォマーシャル”が実現します。

最短1.5か月で放送可能



※あくまで目安となる概算スケジュールになります。

※所定の考査が必要です。考査内容によっては放送できない局もあります。

※放送開始は放送局により異なり、放送局納品後中5日以上かかる局もあります。

#### 【3,100万人に届く“テレビの破壊力”を、150万円で買える時代へ】

『インフォマテストマーケティングプラン』では、関東広域をカバーするMXTVでのテスト放映が可能。その視聴可能者数は3,100万人。通常1枠12万円のところ、当社では“半額以下”での枠提供を実現し、圧倒的費用対効果でテストが行えます。

この圧倒的リーチ力と、売れるネット広告社グループが誇るD2C最適化ノウハウが融合することで、テレビ×デジタルの“獲得永久機関”を構築できる点こそ、最大の競争優位性です。

#### 【売れるネット広告社グループの“縦のシナジー”が、テレビ獲得を完全支配する】

本サービスは単なる制作パッケージではありません。

- 『売れるD2Cつくーる』でLP制作・改善を即座に実施
- 『売れるAIシリーズ』で広告改善を自動化

- 広告運用部隊がデジタル×TV のクロスチャネル最適化を実行
- オルクスの自社 D2C で蓄積した勝ちパターンを反映
- JCNT による通信インフラで安定受注体制を構築
- パートナー企業のコールセンター300 席がバックエンドを完全掌握

——これらが一気通貫で連動することで、テレビ CM の ROI を“限界突破”させる仕組みを実現します。

#### 【市場背景：通販市場 10 兆円超、テレビ復権の波が到来】

通販市場は 2020 年度に前年比 20.1% 増の 10 兆 6,300 億円。EC 化が進む一方、食品・美容・健康食品などのジャンルではテレビ経由の獲得が依然として強く、再びテレビチャネルへの投資が増加しています。

その中で、インフォマーシャル参入のハードルを“150 万円”まで下げた本サービスは、中小～上場企業まで広く利用可能な“ゲームチェンジャー”となります。

#### 【今後の展望：テレビ獲得の“新しい常識”を創り、業界覇権を取りに行く】

売れるネット広告社グループは、今回のインフォマーシャル事業を皮切りに、  
・AI によるテレビ CM クリエイティブ自動生成  
・視聴ログ×CV データの統合分析  
・インフォマーシャル特化型の成果報酬広告ネットワーク  
など、テレビ×デジタルの“獲得 OS”を構築し、D2C 企業の新規獲得を根底から変えていきます。

なお、本件は 2026 年 7 月期の連結業績にプラス寄与を見込んでおります。

株主・投資家の皆様、  
テレビ獲得市場における“新たな覇権奪取の歴史的号砲”を、どうぞその目に焼き付けてください。  
我々とともに、まだ見ぬ“爆益の未来”を掴みに行きましょう。

以上